

TTピーエム株式会社

40th
Anniversary



TOP MESSAGE

TTピーエム株式会社
代表取締役社長

生藤 芳一

これからの5年、10年も、
社員一人ひとりが成長し、
お客様に頼られる存在となることを
お約束いたします。

TTピーエム株式会社は、1985年7月に東芝ピーエム株式会社として創業以来、皆様のおかげで40周年を迎えることができました。当初は数名の社員でスタートした我々の会社も、現在では180名の社員を擁するまでに成長いたしました。

この節目を迎えるにあたり、まずはお客様、社員、そして取引先の皆様に心より感謝申し上げます。皆様のご支援とご協力があってこそ、今日のTTピーエム株式会社があります。

我々の事業は、ビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)を通じてお客様の業務負荷を軽減することを目的としています。特に、ここ5年間では従来のサービスをブラッシュアップしたデータバリューアップサービス「ValueAID」シリーズを立ち上げ、お客様の事業をAI+人で支える各種BPOサービスを提供開始いたしました。

「ValueAID」シリーズには、AIソリューションを下支えするアノテーションサービス「AI-AID」、お客様の書類を電子化するだ

けでなくナレッジを抽出するなど二次活用する「Docu-AID」、AI-OCR+RPAでお客様の業務を簡易化、自動化する「BIZ-AID」、健保ビジネスを下支えする「HC-AID」、そしてお客様のビジネスのDX化を支援する「DX-AID」などのサービスがあります。これらのサービスを通じて、お客様の業務をさらに効率化し、価値を高めることを目指しております。

また、執務環境の整備や人材育成を通じて、セキュアで高品質かつ高効率なサービスを提供しております。目まぐるしく変化する社会環境にも柔軟に対応し、今後も「誠実」をモットーにお客様の事業に貢献し、一緒に成長していきたいと考えております。

これからの5年、10年も、社員一人ひとりが成長し、お客様に頼られる存在となることをお約束いたします。

今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

創立40周年に寄せて



トランスコスモス株式会社
専務執行役員
BPOS統括 事業推進本部 本部長

内村 弘幸 様

創立40周年、誠にありがとうございます。

5年前、弊社グループに参画いただき、常日頃からBPOサービス運営にご尽力賜り改めて感謝申し上げます。

昨今の市場は刻一刻と変化しており、地政学における劇的な変化も私たちの周りでは起きています。

そのような環境下でも動揺する事なく、変革を繰り返し実施するのがBPOサービスです。

東芝グループをはじめ、お客様を支える私たちは、常に変革の中核として、業務と最新のテクノロジーを組み合わせたDigital BPO®を軸とした、品質の高いサービスを提供し続けていきたいと思います。

これから更なる繁栄にむけ、ともに歩んでいければと願う次第です。

最後になりますが、貴社のますますのご発展とご健勝を心から祈念申し上げます。



東芝デジタルソリューションズ株式会社
ICTソリューション事業部 ICT事業推進部
業務・営業管理推進担当 シニアマネージャー

合志 陽一郎 様

この度、TTピーエム株式会社が創立40周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。東芝デジタルソリューションズ社として、これまでの皆様のご尽力と成果に対し、深い敬意を表させていただきます。

2019年に、貴社の更なる発展を図る為、トランスコスモス株式会社の傘下へ移動されてから、現在に至るまでの約5年間、まさにVUCAの時代そのものでした。そして、この激変する環境は継続し、企業にとって、コア領域への一層のリソース集中が求められることとなり、ビジネスプロセスアウトソーシングの重要性は益々高まっていくと予想されています。

このような状況下において、貴社が速やかにかつ柔軟に環境に適応し、高品質なサービスを安定して提供いただいていることは、当社への多大な貢献として感謝しており、また、今年度150周年を迎える東芝グループの次の100年に向けた成長にとって、不可欠なパートナーとなっております。

今後も、TTピーエム株式会社が新たなテクノロジーの導入やサービスの開発に積極的に取り組み、持続的な成長を遂げ、輝き続けること、そして、従業員皆様方の健康とご活躍を祈念致しまして、祝辞とさせていただきます。

40周年記念

スペシャルコンテンツ

感謝を込めてご期待に応える。

40周年を記念して、主要なお取引先様との特別対談を実施しました。

これまでのご厚誼に対する感謝と、今後もお取引先様のビジネスに貢献していく決意をお伝えしました。

加えて、TTピーエムがさらなる発展を遂げるための貴重なヒントもお聞きできた意義深い対話となりました。

※2025年5月の対談当時の部署名、役職を記載しております。



Chapter 1

成長の確かな 下支えを担って

東芝デジタルソリューションズの業務について

生藤社長 TTピーエム株式会社(以下、TTPM)はこの7月1日で40周年を迎えます。これを機に東芝デジタルソリューションズ株式会社(以下、TDSL)の月野様にお話をお伺いできればと思います。

月野様 40周年おめでとうございます。TTPMには常々さまざまな面で支援をいただいています。

生藤社長 特に業務管理サービスについてお聞きしたいと思い、業務管理サービス部長の田口も同席させていただきます。

田口 本日は進行役も務めさせていただきます。よろしく申し上げます。では早速ですが、TDSLの事業状況、トピックスをご紹介します。

月野様 TDSLは東芝グループのデジタルソリューション事業領域を担当する事業会社として、前身の東芝ソリューション株式会社を経て2017年の7月に発足しました。コロナ禍で厳しい期間もありましたが、24年度はグループとして過去最高益を上げることができました。

生藤社長 それは素晴らしいですね。

月野様 コロナ禍からの復活ということもありますが、昨今、お客様は生成AI、IoT技術等を使って事業のデジタル化、効率化を目指す動きが加速していることも追い風となって、事業環境としては活況を呈しています。現在TDSLグループは2つの事業部門と4つの関係会社で構成されています。まずICTソリューション事業部では官公庁、流通・金融、社会インフラの3領域と、量子暗号通信やブロックチェーン、気象データ、生成AIなどの新規事業を手掛けており、連結子会社として東芝ITサービスと東芝デジタルエンジニアリングを擁しています。一方、スマートマニュファクチャリング事業部では製造業、電力会社を中心にビジネスを展開し、傘下に東芝情報システム、イー・ビー・

東芝デジタルソリューションズ株式会社
取締役常務 月野 浩 様

TTピーエム株式会社
代表取締役社長 生藤 芳一
業務管理サービス部 部長 田口 康博

ソリューションズがあります。どちらの事業部門も開発効率化、製品にAIを組み込むなどの動きを加速させ、お客様事業のDX化に貢献するシステムインテグレーションおよびデジタルソリューションの提供により成長を続けています。

生藤社長 大変わかりやすい説明、ありがとうございます。

TTピーエムの評価について

田口 では続いて、当社の業務管理サービスについて、御社内ではどのような評価をいただいているのか、社員の皆様からはどのような感想があるのか、忌憚のないお話をお聞かせください。

月野様 TTPMをお願いしている業務管理は、私が現場にいた時から基本的な流れは変わっていないと思いますが、その中身が変わりつつあります。かつては手書きの書類がメインでしたが、今はPDFなど電子化されたドキュメントでフローを流していくようになっています。昨今、内部統制の強化などが厳格化し、会計ルールも一定頻度で変化しています。もちろん法務部門、経理部門からのルール変更通知を受け、企画部が各事業部門に落とし込んで、前線の一人ひとりがすべてを認識しているというのが理想です。しかし制度改変に加え、ビジネス自体も複雑化しています。前線の人たちがビジネス推進に時間も手間も要している状況で、内部統制の知識などを含めて、すべてを頭に入れて対応するのは困難です。その中で、TTPMが必要なエビデンスをきちんとチェックし、内部統制の不備を招かないように正しい手順で処理していただいているのは非常に助かっています。それによって前線がコア業務、つまり自身のソリューションを磨いたり、提案内容をブラッシュアップしたりすることに集中できますから。

田口 ありがとうございます。続いて、サービス提供やサポートの体制に関して、ご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。

月野様 TTPM設立の経緯から考えても、元々は東芝グループ

にいらした方々に業務にあたっていただいているということで、非常に安心感を持っています。逆に我々の若いメンバーに手順を教えていただくようなケースもあると思っており、そこに関しては非常に満足しています。一方で、我々のビジネスのやり方も、従来のようにプロダクトを販売して終わりだとか、システム開発後に検収を上げ、売り上げを立てて終わりという形だけではなく、リカーリングモデルやサービス提供のような形が加わり、業務処理の方法も複雑になりました。それに合わせた新しいやり方や取り組みが必要になっています。そうした部分にも伴走していただくような体制を取っていただけると非常に助かります。

田口 ありがとうございます。新しい統制をはじめ、そうした部分は積極的に取り組んでいきたいと考えていますし、業務効率化もお手伝いできる領域と思います。

生藤社長 クラウド系の従量課金など、新しい販売手法などについても、柔軟に対応させていただきますので、引き続きよろしくお願いします。

TTピーエムへの期待

田口 それを踏まえて、当社サービスにご期待されることがありましたら、ぜひご教示ください。

月野様 業管の処理は、一部RPAによる自動化も進んでいますが、まだ手作業が多く残っており、自動化が進んでいくべきと思っています。例えばTDSLには生成AIの活用プロジェクトとして、AIによる社内業務の効率化というプロジェクトがあります。その成果を共有して業務に取り込む形ができれば、TTPMとしてもより少ない人数でさらなる業務処理の向上が実現できるかもしれません。我々としても、人間の確認でやっていたところが自動処理によってミスが減る可能性も期待できます。今はTDSLの仕事をしていただいているのですが、そうした改善が東芝グループ各社へと拡大する助けになるのではと思います。

生藤社長 今後、こうしたバックオフィス系の仕事を、TDSLグループ各社、東芝グループ各社に広げるチャンス、可能性はあるでしょうか。

月野様 十分可能性はあると思います。24年度に東芝グループは人員の適正化施策を進め、スタッフ部門の人数を減らしており、業務処理の効率化、負荷軽減が必要だと思っています。また、前線の事業部門も固定費削減目標を設定して各社が取り組んでいます。少ない人数で最大の効率化をめざしたバックオフィス業務をやっていくニーズは今後増えていくでしょう。

生藤社長 固定費からBPO等の活用で変動費化することですね。

月野様 はい。そうしたニーズに対して、これまで一緒にやっていた知見を横展開していけば、かなりのチャンスがあるはずです。やはり東芝グループで一緒に業務をしていた方々にサポートいただくのは、非常に優位性があると思います。

生藤社長 多岐にわたる貴重なご意見、本当にありがとうございます。今後もさまざまな改善を進め、より良いサービスを提供していきます。

共に歩む、 未来への一步

東芝健康保険組合
常務理事 二宮 史明 様

TTピーエム株式会社
ヘルスケアサービス部 部長 木山 弘志

ピンチをチャンスに

木山 TTピーエム株式会社(以下、TTPM)創立40周年ということで、東芝健康保険組合(以下、東芝健保)の二宮様にお話をお伺いします。

二宮様 40周年おめでとうございます。よろしく願います。

木山 早速ですが、健保組合の業界動向についてご紹介ください。

二宮様 健保組合を取り巻く状況を俯瞰すると、少子高齢化の進展と医療の高度化・高額化などが多くの健保組合の財政を圧迫しています。全国約1,400の健保組合の上部団体に当たる健康保険組合連合会が発表した令和7年度の予算編成状況の集計を見ても全体の約8割の健保組合が赤字予算となっています。東芝健保も現在の保険料率の維持に苦労している状況です。

木山 ありがとうございます。次に環境の変化ということで、分かりやすいのはマイナ保険証への移行に伴い、資格確認書や資格情報のお知らせなど多くの変化が起きています。東芝健保様の業務としてお困りの点はございませんか。

二宮様 国が推進する医療DXの一環として健康保険証の廃止、マイナ保険証への移行が実施され、他にも様々な法改正や改革が進んでいます。それに伴い我々の業務負担は非常に大きくなっています。ただし、こうした状況は東芝健保の加入者や事業主の皆さんに対して、東芝健保の存在価値を認識いただけるチャンスでもあり、ポジティブに捉えたいです。健保組合は事業会社とは異なり、事業の成長や将来性などが見出しにくい組織なので、困難な時期にいろいろなことに取り組むことで、職員の方に東芝健保での仕事のやりがいや健保組合の存在意義、社会への貢献を感じてもらおう機会にできればと考えています。

TTピーエムの評価について

木山 「変化はチャンス」と言います。いろいろな改善を進められる好機でもあるということですね。続いて、TTPMに対するご

評価やご意見について、忌憚のないところをお聞かせください。

二宮様 TTPMの設立当初からレセプトデータ管理業務を皮切りに、多くの業務を誠実かつ適正的確にご対応いただいており、今では東芝健保にとって欠くことのできないビジネスパートナーです。変化が多い中で突発的な業務対応や、方針が決まらない中で手探りで対応いただくことも増えていますが、臨機応変にご対応いただいていることには改めて感謝申し上げます。業務を委託する側と受託する側という関係ではありますが、一つ一つの業務を進めていく上では、業務プロセスの改善や効率化が重要です。今後は、これまで以上に積極的にコミュニケーションを取り合い、トータルで業務レベル、品質レベルの向上を図っていただければと考えます。東芝健保は公法人であり、一つ一つの業務をきめ細かく、深掘りして縦の深さを追求する必要があります。一方、TTPMは様々な領域のサービス、顧客をお持ちで、その横への広がりには東芝健保にはないものです。互いの強みを活かして、縦と横の結びつきでシナジーを生んでいただければと思います。

次の一歩のために

木山 ありがとうございます。昨今は人材不足も深刻になっていますが、何か工夫できるところがあるのか、お考えをお聞かせください。

二宮様 健保組合の業務は、データヘルス計画や事業主とのコラボヘルス、健康経営への対応など多様化し、医療DXへの対応も求められています。そうした中で多くの健保組合が人材の確保と育成を課題としています。職員の高齢化への対応や知見やノウハウの継承も重要で、TTPMとはこの領域でも連携できることが少なくないと感じています。

木山 当社でもAIを活用したナレッジ共有の仕組みを検討しており、将来的には東芝健保様と共有するなど、柔軟な対応ができればと考えています。また、健康経営については一人ひとりの健康増進による医療費の削減につながるようイベント等の働きかけを継続しています。ここまでの取り組みに対するご意見や今後のご期待があればお聞かせください。

二宮様 多くの企業が健康経営優良法人の認定取得に取り組んでおり、東芝グループでも徐々に増えています。東芝健保もその支援を行っていますが、まだ十分に広がっておらず、今後さらに取り組みを拡大する必要があります。ただし認定の取得自体が目的ではなく、活動を通じて組合員の健康意識の向上や生活習慣の改善を促すことが重要です。それが経営への貢献や医療費削減にもつながります。TTPMには健康づくりイベントでご協力いただいております。多様なツールを活用した取り組みには感謝しています。今後は事業所のニーズに応じて、コラボやタイアップなど多様なアイデアで、より魅力的なイベントを共に展開していきたいと考えています。

木山 ありがとうございます。組合員の方々に楽しんでいただきながら、一人ひとりが健康を意識し、生活習慣や行動様式の改善につながるよう、我々も精一杯取り組んでいきます。引き続き、よろしくお願いいたします。

アノテーションの その先を見据えて

富士ソフト株式会社
ASI事業本部 モビリティ事業部 AIシステム部
部長 野村 悟 様
第1技術グループ グループ長 野呂 尚史 様

TTピーエム株式会社
アノテーションサービス部 部長 志賀 俊巳

変化する顧客ニーズと生成系AIの影響

志賀 TTピーエム株式会社(以下、TTPM)創立40周年ということで、富士ソフト株式会社(以下、富士ソフト)の野村様、野呂様にお話をお伺いします。

野村様 40周年おめでとうございます。よろしく願います。

志賀 最初に、AIシステム部のビジネス内容についてご紹介ください。

野村様 私たちは基本的に自動車業界のお客様のお困りごとを解決するというスタンスで、お客様とのコミュニケーションの中から着想を得て、製品やソリューションを開発し販売することをミッションとしています。TTPMには各種データにタグやメタデータを付加するアノテーション、AIに用いる様々な入力データなどをお願いしています。昨今、AIの発展・普及に伴い、画像データのアノテーションニーズが急増していますが、今後は画像以外、特に最近では生成系AI、あるいはAIエージェント関連で、業界特有の知識が要求される業務が増えていくと予想しています。

志賀 ありがとうございます。生成系AIの登場もあって変化が急激ですが、富士ソフト様から見て最近の顧客ニーズにはどのような変化が見られますか。

野呂様 野村が申し上げたように、これまでは画像解析が主流でしたが、ChatGPTの登場以来、テキストはもちろん、映像も対象になっています。生成系AIは世の中のインターネット上の情報をベースに学習するため、業界特有の知識や情報はあまり入っていません。今はその業界特有の知識を取り入れられる仕組みや、そうしたデータを活用した上で製品やソリューションを開発して欲しいというリクエストが増えています。例えば、自動車業界であれば自動車業界特有の多様なデータを、

既存のシステムに取り込むだけでなく、さらに製品にまつわる法規への対応なども要望されています。

共創に向けたTTピーエムへの期待

志賀 ありがとうございます。弊社でも最近では生成系AIに関わるデータ、生成系AIへの活用の特化したデータを作るご依頼が増えています。次に、これまで数多くのアノテーションのご依頼をいただきましたが、その結果に対するご評価、あるいはTTPMに対してさらに期待されることがありましたら、ぜひお聞かせください。

野村様 細かなオーダーにもしっかり対応していただいています。特に映像データのアノテーションに関して精度や品質は、お客様から高い評価をいただいていますし満足度も高いです。
野呂様 複雑なオーダーにも臨機応変に対応いただいていますので、非常に助かっています。

野村様 今後に期待することとしては、今はただデータを入れるというよりも、どのように入れる仕組みを作るのかというフェーズに変わってきており、ちょうどシステム自体の変革期になっていると思います。今後はいろいろなデータの形に対応し、今までとは違うものに取り組みなければいけないので、ぜひとも協力していただきたいですね。例えば図面や、仕様書、法規のテキストなどについて、ある程度意味を分解して入力する必要があります。その時にどのようなシステムを作り、どのようにデータを取り込めばいいのか、という試作を重ねています。他にも様々な制限も出てくると思いますので、その時には相談させていただき、ぜひ協力してもらえればと思います。

急速に進化するAI業界、次の一手は？

志賀 弊社もお客様のご要望にただお応えするだけではなく、コミュニケーションを密にしながらより良いものをお届けするアジャイル型サービスを売りの一つにしています。今後ともよろしくお願いいたします。最後に、今後の成長戦略などございましたら差し支えない範囲でお聞かせいただけますか。

野村様 めまぐるしくAIが進歩する中、生成系AI、その先のAIエージェントといった業界の流れや競合するライバルの動向も見据えて、当社がどこに注力して取り組むか、試行錯誤しながら調査研究し模索している状況です。今は業界全体が過渡期に入っており、当社もそれに合わせて戦略を立案しているというのが現状です。

志賀 分かりました。TTPMとしても富士ソフト様のビジネスにこれまで以上に貢献できるように頑張ります。本日はありがとうございました。



Chapter 4

人事業務シェアードサービスは共創で進化

株式会社メック・ヒューマンリソース
人事労務サービス部
部長 布施 英邦 様
給与厚生業務ユニット長 金子 照代 様
社会保険業務ユニット長 坂田 啓典 様
TTピーエム株式会社
データマネジメントサービス部 部長 杉本 貴幸

法改正時の実務対応、その難しさと工夫

杉本 TTピーエム株式会社(以下、TTPM)創立40周年ということで、株式会社メック・ヒューマンリソース(以下、MHR)の布施様、金子様、坂田様にお話をお伺いします。

布施様 40周年おめでとうございます。よろしくお願ひします。

杉本 MHR様は三菱地所グループの人事業務シェアードサービスを展開されており、法改正などに業務が影響されるところも多いかと思われます。最近の動向はどのように捉えていらっしゃいますか。

坂田様 社会保険の分野でいえば、法改正に影響される部分はやはり大きいです。法改正があった際に、どのタイミングで、何がどのように変わるのか、ギリギリまで分からなかったりするので。変わる内容もただ掲示してあればいいのか、何らかの通知を発送するとして、その対象が被保険者全員なのか、対象者だけなのか、さまざまなケースがあります。また、全員に通知を送らなければならないという時は、我々も少人数で動いているので対応が難しくなります。直近もマイナ保険証でそういうことがありましたが、TTPMは頼れる存在で本当に助かっています。

杉本 ありがとうございます。

坂田様 ご迷惑をかけているという認識はあるのですが、弊社としても情報が下りてこないことには対応のしようがないところで、TTPMには厳しいスケジュールでよくやっていただけたと思っています。品質的にも実務の現場から満足度は高いという声を聞いています。

杉本 うれしいお言葉、ありがとうございます。逆に、TTPMとしても知識が増えますし、対応力も鍛えられていると考えています。業務効率化を目的としてAI・DXの活用ということも

重要なテーマになっていますが、どのような課題を感じていらっしゃいますか。

AI-OCRの活用に期待

金子様 現在、まさに住民税の年度更新業務をお願いしているところですが、毎年、記載事項はほぼ一緒なので、AI-OCRの自動読み取りが有効な業務ではないかと思います。今は人力でやっていただいていると思いますが、AI-OCRを上手に活用できれば、期間を圧縮して対応いただくこともできるのかなと。TTPMにはそうしたことを期待したいです。

杉本 承知しました。我々としてもAI-OCRを活用した作業効率化ができないか、検討していきますので今後にご期待いただければと思います。

ちなみに、TTPMがMHR様のお仕事をさせていただききっかけはどのようなことでしたか。

布施様 マイナンバーがスタートする時でした。従業員のマイナンバー収集を外部委託することになりまして、三菱地所グループで別の委託先を選定していたのですが、委託先を1社に絞るのはリスクがあると感じたので、プランBとしてマイナンバー収集を委託できるところを探したときに、旧東芝ピーエム様を見つけまして、そこからご一緒させていただいております。

杉本 ありがとうございます。2016年にマイナンバー制度が施行されましたが、翌2017年度から収集業務の委託をいただき、あらためまして御礼申し上げます。

徹底したセキュリティ管理体制に安心感

布施様 当時の担当者の方々と試行錯誤しながら、マイナンバー収集の仕組みを作ったのはとても印象に残っています。委託が始まって間もない頃にTTPM社内も見学させていただきましたが、動線がきれいに分けられて、特定の人しか入室できないエリアも作られていて、こんなにうまくできるものかと、本当にすごいなと思ったものです。

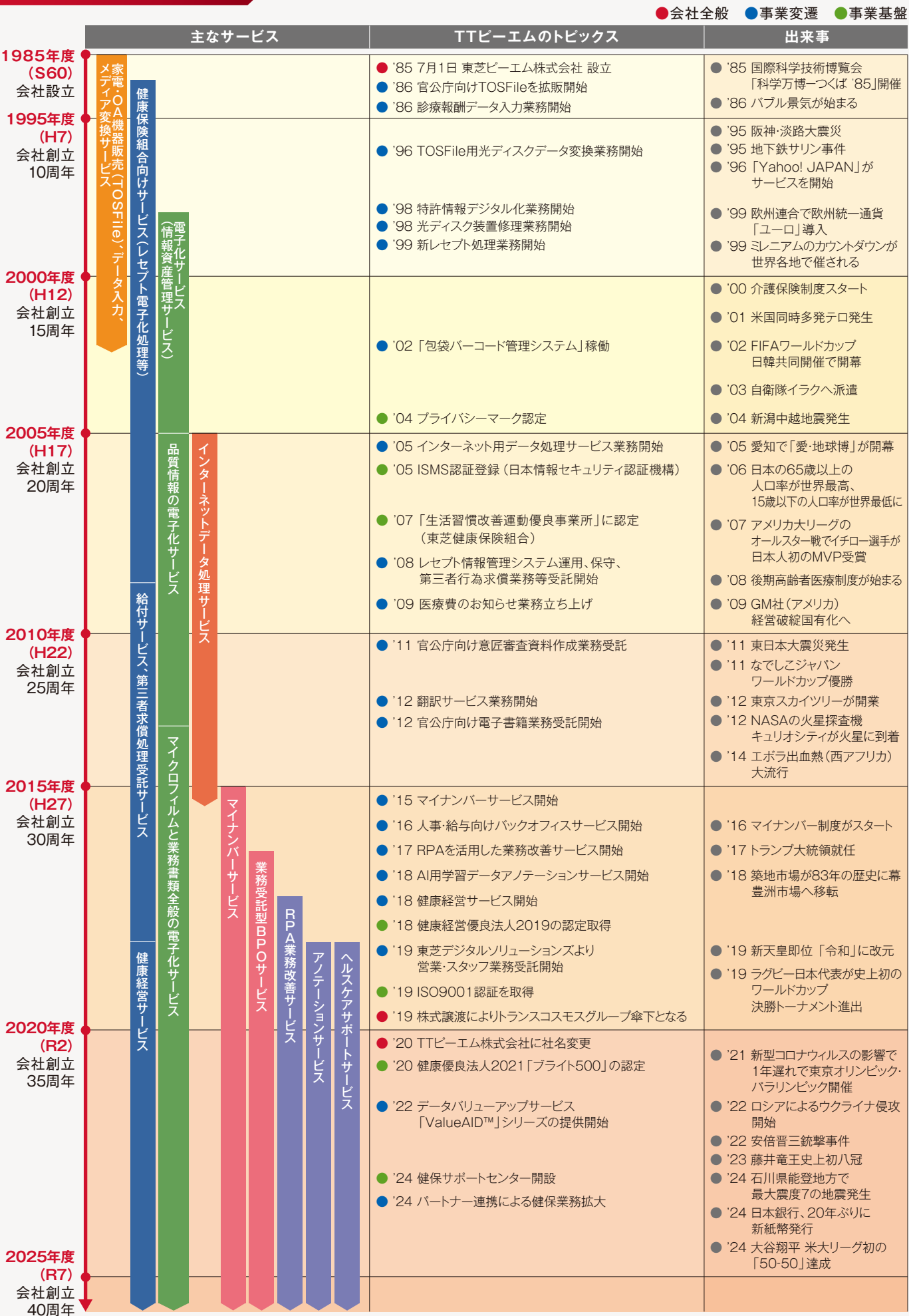
金子様 現場のメンバーにも事前に確認しましたが、品質的に全く問題無く、対応も丁寧で、安心してお願いできるとのことでした。

杉本 ありがとうございます。最後に今後TTPMに期待されることがありましたら、お話しください。

布施様 今後、グループ内でもDX活用が加速していくと思いますので、例えばデータ収集及び分析が必要となった場合に弊社では対応できなくなる可能性があるのでは、その際は協力いただければと思います。

杉本 今後はさらなるデータ活用の分野でもご協力できるように、MHR様と連携して進めてまいりたいと思います。ありがとうございました。

40年のあゆみ



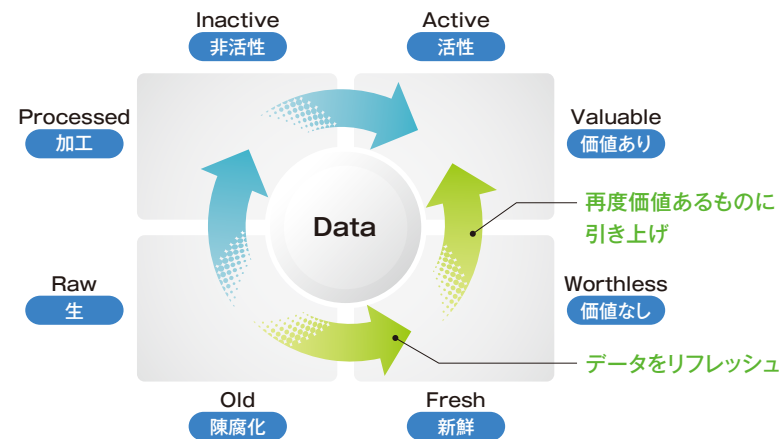
変化する時代に求められるデータ活用と価値向上を、
TTピーエムのValueAIDサービスで実現します。

「デジタル化」に本当に必要なのは **データ活用力**

データを活性化し、活用可能にすることが求められています

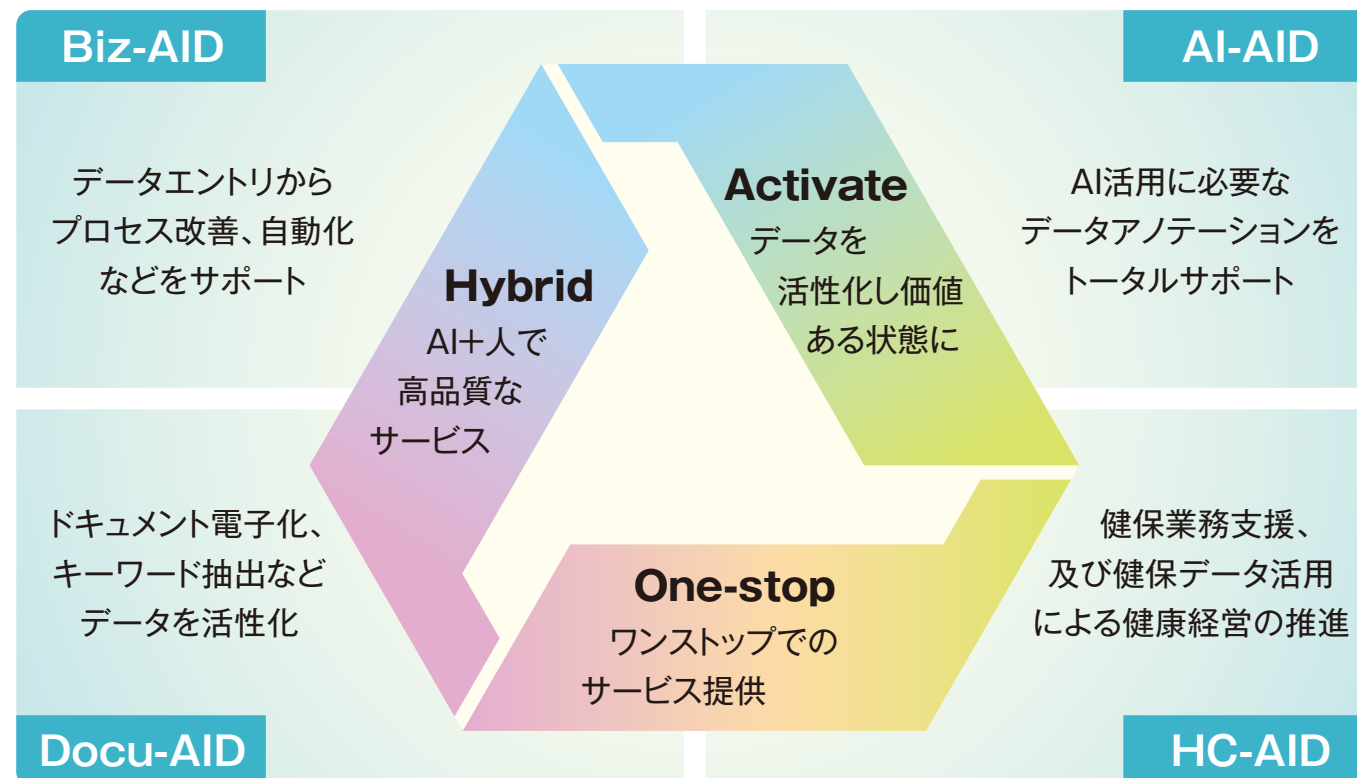
データの状態遷移 (Data Value Loop)

近年、企業で扱われる膨大なデータは業務プロセスの過程で、また時間の経過や世の中の環境が変化するとともに、その価値が変化しています。本サービスは時間の変化、環境の変化とともに求められるデータの価値向上を、AIツールを活用したデータ入力、データ加工、データチェック等のソリューションで実現します。



TTピーエムがご提案するソリューション
Data Value Upサービス

ValueAID



会社概要

名称	TTピーエム株式会社
代表者	代表取締役社長 生藤 芳一
所在地 (本社)	〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-8-12 Attend on Tower(受付8F)
TEL	045-470-2911(代表)
URL	https://www.t-tpm.com/
設立	1985年(昭和60年)7月1日
資本金	1,000万円
資本構成	トランスコスモス株式会社 80.5% 東芝デジタルソリューションズ株式会社 19.5%

所在地



URL



▲ 新横浜 Attend on Towerビル

経営ビジョン

高生産性、高品質で、セキュアなBPOサービスお客様のビジネスに貢献する

データ活用による新たな価値創造を支援する

社会的責任を果たすとともに人として企業として成長する

行動指針

私たちは、誠実に以下の行動を実践します

1. あらゆる場において倫理観をもって責任を果たします
2. お客様の声を全て発想の原点とし、お客様の成功と満足に貢献します
3. プロセスを変革し、高い品質とスピードを追求します
4. 常に世界のベストプラクティスを学習し、実践します
5. 変化をチャンスと捉え、リーダーシップを持って高い目標に挑戦します
6. オープンでクロスファンクショナルな行動を実践します
7. コミュニケーション能力と高い専門性を磨きます
8. 社員が生き生きと働ける環境作りを目指します



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
中小規模法人部門
ブライツ500